

特集:彩北わっキャナイト～2015～

多くの稚内市民が手作りした雪と氷のキャンドルで冬の稚内を綺麗に彩る点灯イベントです。イベント名は、「彩」と「最北」、「わっかない」と「キャンドル・ナイト」が掛け合わされた造語になっています。設置場所は稚内港北防波堤ドーム、JR稚内駅前、中央アーケード街、稚内市立図書館前と広範囲に渡り、雪のスノーキャンドルを設置する会場もあれば、氷のアイスクャンドルを設置する会場もあって、多様な灯りが楽しめます。2月14日の聖夜に、雪と氷とロウソクの灯がつくり出した幻想的な光景をご紹介します。



①午後5時、点灯直後の北防波堤ドーム会場の様子。
(2014年の同会場の点灯式には北海道知事も参加しました。)



②光に包まれた通路となるように、キャンドルが配置されています。



③北防波堤ドーム会場は、スノーキャンドル独特の、ぼーっと滲むような柔らかい光で全体を構成。



④照明が落ち、キャンドルの淡い光だけが暗闇に浮かび上がります。



⑤淡い光に縁取られた、不思議な世界に迷い込んだ気持ちになります。



⑥北防波堤ドームのコンクリート壁には、稚内北星学園大学の学生による映像作品が映し出されるという、粋な演出もありました。



⑦JR稚内駅前会場。沢山の小さな雪だるまとかまくらが観光客を出迎えてくれます。



⑧2月14日にちなんで、ハートマークがかたどられています。



⑨鉄道最北の地の記念碑に向って、線路のようにキャンドルが並べられています。
(2ページ目に続きます↓)



⑩背後に見えるのが、新しいJR稚内駅。キャンドルの写真を撮っている観光客の方が沢山いました。



⑪中央アーケード街会場では、アイスクヤンドルの凜とした灯りが主役になります。



⑫アイスクヤンドルの隣に雪だるまならぬ「氷だるま」を飾っている商店もありました。



⑬氷のネックレスを思わせるようなキャンドルの配置です。



⑭アイスクヤンドルをピラミッドのように組み立てている商店もありました。



⑮多くの商店の前にアイスクヤンドルが並べられており、商店街が一体となってこの「中央アイスクヤンドルロード」を盛り上げようとしている気持ちが伝わってきます。



⑯稚内市立図書館前会場の「アイスクヤンドル夢灯り」。このイベントの中のハイライトともいえる光の宮殿の輝きに、訪れた多くの市民が感嘆の声をあげていました。